

# 『悠悠映画塾』について

## 【1】「悠悠映画塾」開催について。

“映画は豊かな人生学校”と言われます。映画をとおして様々な人生や行った事のない地域を知ることができます。この上映会は、映画の鑑賞をとおして皆さまの人生が「今一つ豊かになった」と喜んでいただける事を願って開催します。

## 【2】お客様の特典サービスについて。

### ① ポイントによる無料ご招待。

お配りしています『受講証』に参加いただく度に、押印させていただきます。

5回ご参加いただきますと、6回目は、無料招待とさせていただきます。

### ② 入場料金の優待。

ご案内ハガキご持参の方は、特別料金にご優待いたします。料金は作品により変動いたします。

### ③ 記念品のプレゼント

ポイントカードを3枚目に更新される時にファイルをプレゼントいたします。

## 【3】上映会場について。

主として、県民文化センター小ホールや、ひたちなか市文化会館小ホールを会場としますが、予約状況などにより、別会場になる場合もあります。

## 【4】会場へのご入場について。

上映会場は一般のチケット購入の方もご入場されます。席は全て自由席です。

先着順にご入場いただきますが、定員数を越えてご入場いただく事は消防法により禁じられておりますので、満席になりました場合は、別の時間にご入場いただくことになります。予め、ご了解ください。

## 【5】上映会期日のご案内について。

上映会のお知らせにつきましては下記の方法をとらせていただきます。

### ① 「よみうりタウンニュース」紙上等での上映案内。

### ② すでに映画センターにお名前、ご住所が登録されている方（今回の上映のお知らせが直接届いた方）には、チラシ郵送による案内。

### ③ 本日のアンケートの住所・氏名欄にご記入いただいた方で、今回初めてご記入いただいた方は、新たに登録させていただき、次回分より優待付案内状をお送りさせていただきます。

### ④ 茨城映画センターのホームページ上の上映スケジュール

## 【6】お知らせいただいた情報の使用について。

お知らせいただきました、皆様の住所、氏名等の情報につきましては、上映情報の提供等、「悠悠映画塾」の運営を充実させる目的以外には使用いたしません。

### 【ご意見・ご要望は】

『悠悠映画塾』事務局（茨城映画センター）〒310-0064水戸市栄町1-10-13

TEL 029-226-3156(平日10:00~17:00) E-MAIL eiga-c@ibaraki-eiga.co.jp

ホームページアドレス [www.ibaraki-eiga.co.jp]

# 第101回悠悠映画塾

人生でやり残したこと、ありませんか？

## 財津一郎・犬塚弘追悼上映会 ふたたび

SWING ME AGAIN



鈴木亮平 MINJI

青柳翔／藤村俊二 犬塚弘 佐川満男

渡辺貞夫（友情出演）／古手川祐子（特別出演）・陣内孝則（特別出演）

財津一郎

企画・監督：堀尾保 原作・脚本：「ふたたび」矢城周一（宝島社文庫）第5回 日本ラストストーリー大賞 エンタテインメント特別賞

主題歌：「SO FAR AWAY」MINJI（ドリーミュージック）「ふたたび」オリジナル・サウンドトラックより

製作：猪田真／水口昌彦／森博貴／鶴野浩二／木下直哉／酒井貴／小笠原明男／矢野裕美子／川崎代治／星野恭志／青沼弘二／第木田道哉／井上隆輔／山科修治／中西桂子

プロデューサー：北川第一／丸茂哲理／木村匠人 アシスタントプロデューサー：山崎和史 計画：中村幸代

撮影：江原和二（JSC） 美術：吉賀次郎 振明／土野宏志 錄音：山本第二 録音：面井弘一（JSE） 製作録音：鷹川元治

制作：松竹京都撮影所 製作協力：ウールード

配給：ギャガ GAGA

製作：「ふたたび」製作委員会（ギャガ／ボニ・キニオン／LDH／イ・ワイ・ミミック／本工務店／ホリプロ／エ・チーム／一光／

メモリーテック／中央美術貿易／博報堂DYメディアパートナーズ／TOKYO FM／テレビ大坂／ケーブルレーディング／アースガルズ）

特別協賛：docomo タクタク（大手前大学）

原作：A YOSHI SHIOYA FILM © 2016 「ふたたび」製作委員会

往年のジャズの名曲に乗せて贈る、心温まる感動作。

2024年6月27日(木)ザ・ヒロサワ・シティ会館 小ホール(県民文化センター)

開演時間／①午前10:30～ ②午後2:00～ 【開場各30分前、上映時間111分】

●主催・問合せ●茨城映画センター（「悠悠映画塾」事務局 Tel:029-226-3156）詳細は裏面をご覧下さい。

# このままでは終われない。 希望に満ちたラストステージが今、幕を開ける。



貴島健三郎、78歳。

男は50年の時を経て、友との約束を果たすため、最後の旅に出た。出会ったばかりの孫と共に――。



神戸。50年前ジャズバンドに青春を賭けていた男たちは、今やそれぞれの人生の最終コーナーを曲がろうとしていた。

78歳になった貴島健三郎は、かつてのバンド仲間を探すために、思うように動かなくなった手に杖を握らせ立ち上がった。

彼の願いは、何も言えないまま姿を消したあの日の許しを請うこと。

そして、あの日果たすはずだった、憧れのジャズクラブ“ソネ”でのセッションを実現させることだった。

それは、彼にとってやり残した人生を取り戻す最後の旅――。



ジャズにのめりこみ、「死んだ」と聞かされていた祖父との旅に巻き込まれていく孫・大翔には、近年話題の映画やTVドラマでの活躍も目覚しい若手注目俳優・鈴木亮平。50年の想いを抱え、孫と最後の旅に出る頑固な元ジャズトランペッター・健三郎には、名優・財津一郎。2人を見守る女性看護士には、日本で本格的な女優デビューをし、注目度急上昇中のMINJI。健三郎のかつてのジャズバンド仲間には、藤村俊二、犬塚弘、佐川満男、さらに息子に陣内孝則、その妻に古手川祐子と存在感溢れるキャストが脇を固める。また、“ソネ”的オーナー役で日本ジャズ界を牽引する‘世界のナバサダ’こと波辺貞夫も登場し、圧倒的なサックスパフォーマンスを披露している。

‘じいさん’となった今だから挑む。「人生」を納得できるものにするために――。 感動のラストステージに拍手喝采！

**前売券 1,200円** 発売予定日／5月24日～(販売所により発売日が異なる場合があります。)  
(当日券／一般:1,500円、高校生以下:800円、**悠悠映画塾会員は1,100円**)

PassMarket  
YAHOO! JAPAN

**前売券販売所** 水戸京成百貨店、ひたちなか市文化会館、デジタルチケット

【前売券予約電話番号】茨城映画センター内：090-2641-3156  
(土・日・祝日を除く 午前10:00～午後5:00)



●感染症対策の為、発熱や体調不良時には来場をお控え  
いただきますようお願いいたします。またご入場の際等、  
適宜手指の消毒にご協力をお願いいたします。

チラシ持参で一般当日券1,300円に割引

※デジタルチケットは、  
上記の二次元コードより  
購入できます。

# 第102回悠悠映画塾

突然、母が死んだ。

大切なことを伝えそびれた夫と、  
知りたいことを聞きそびれた娘に遺されたのは、  
母の人生が詰まつた、一冊のレシピだったー。

母が遣したのは、  
人生の処方箋でした。  
のこ  
レシピ



## 四十九日のレシピ

永作博美 石橋蓮司

岡田将生 二階堂ふみ / 原田泰造 淡路恵子

内田 慶 萩野友里 中野英樹 小篠恵奈 執行佐智子 赤座美代子 茅島成美

監督:タナダユキ 脚本:黒沢久子 原作:伊吹有喜「四十九日のレシピ」(ボブラ社刊)

音楽:周防義和 主題歌:安藤裕子「Aloha 'Oe」cutting edge



49.gaga.jp



GAGA★

エグゼクティブプロデューサー:小西真人 企画・プロデュース:武田吉也 プロデューサー:星野秀樹 黒澤 格 木崎久美 音楽プロデューサー:安井 雄 キャスティングプロデューサー:元川益暢 ラインプロデューサー:新野安行  
撮影:辻善龍人 映像:藤井 勇 録音:小川 武 美術:林 千奈 装飾:津 博之 衣裳:吉本茉莉 アメイク:竹下フミ 編集:宮島竜也 スクリプター:増子さおり 監督助監:中村佳次 助監督:安達利平 制作担当:村山里希  
製作:WOWOW/ボニーキニオングループ/フィール東日本企画/NTTドコモ/ハルノ/TSVホールディングス/スムールキース 製作監修:WOWOW FILMS / ボニー・キニコフ 制作プロダクション:ワールコ 配給:ギガ GAGA★  
協力:茨城県 茨城県観光コンベンションビューロー 助成:茨城文化芸術振興費補助金 ©2013 映画「四十九日のレシピ」製作委員会



2024年7月19日(金)ひたちなか市文化会館小ホール

開演時間 / ①午前10:30~ ②午後2:00~ 【開場各30分前・上映時間129分・字幕付上映】

●主催・問合せ● 茨城映画センター(「悠悠映画塾」事務局 TEL:029-226-3156) 詳細は裏面をご覧下さい。

# 母が遺したレシピに導かれ、 母の人生を旅する、 49日間の感動の物語。

遺言は、「四十九日の大宴会」でした—。

誰の人生にも必ず訪れる、大切な人の永遠の別れ。けれども、熱田家の母・乙美は、あまりにも突然逝ってしまった。  
夫の良平(石橋蓮司)は何ひとつ感謝を伝えられず、憤る娘百合子(永作博美)は女として今こそ聞きたいことが  
あったのに、母はもう居ない。  
そんな折、熱田家に派手な服装の少女イモ(二階堂ふみ)と、日系ブラジル人の青年ハル(岡田将生)が現れる。  
生前の乙美に頼まれ、残された家族の面倒を見に来たというイモは、乙美がとある「レシピ」を書き遺していることを伝える。  
それは、自分が居なくなつても、残された家族がちゃんと毎日を暮らしていくようにと、料理や掃除など日々の家事にまつわる知恵や、  
健康や美容に関するアドバイスが、楽しいイラスト付きで描かれた手作りの<暮らしのレシピカード>だった。  
レシピに従って、少しずつ暮らしを立て直し始める父と娘は、その中の1ページに  
“自分の四十九日には大宴会をして欲しい”という、生前の乙美的希望を見つける。  
こうして、母の遺したレシピにいざなわれ、娘と父、イモ、ハルの4人での“四十九日の大宴会”までの奇妙な共同生活が始まるが—。



前売券 1,200円 発売予定日/6月17日~ (当日券/一般:1,500円、高校生以下:800円、悠悠映画塾会員は1,100円)

前売券販売所 ザ・ヒロサワ・シティ会館、水戸京成百貨店、ひたちなか市文化会館、デジタルチケット

【前売券予約電話番号】茨城 映画センター内: 090-2641-3156  
(土・日・祝日を除く 午前10:00~午後5:00)



## 感動と笑いを巻き起こす、豪華キャストの共演—！

娘の百合子を演じるのは、「八日目の蝉」で日本アカデミー賞助演女優賞他、映画各賞を総ナメにし、  
その確かな演技力と透明感あふれる美しさで、日本を代表する女優となった永作博美。  
頑固で口下手で不器用だけれど気持ちは熱い父の良平には石橋蓮司。  
岡田将生と二階堂ふみが不思議な魅力に溢れる個性的なキャラクターを、原田泰造が百合子の夫を演じている。  
伊吹有喜のロングセラー小説を、独自の感性が人気の氣鋭監督タナダユキが映画化。  
死と真っ直ぐに向合うことで、人生の素晴らしさ、愛おしさを描き上げる。  
何でもない毎日の何でもない雑事を、心をこめてこなす母のレシピは、“人生を愛するための処方箋”だった。  
母が家族に遺した大きな愛が、観る者をも抱きしめる感動作が、ここに誕生した。

おとぎ  
乙美さんの、  
“暮らしのレシピ”  
をご紹介!!

買い物の法則レシピ

毎日の食材選びに困ったら“バトカード”信号!  
バトカードの「白」と「黒」、信号の「赤」色、「黄」色、  
「緑」色の食材で、  
だいたいの必要な  
栄養はこれちゅう!

コロッケパンのレシピ

●材料  
コロッケ…1個  
食パン…(6枚切り)…2枚  
キーベツ…1~2枚  
ソース・マヨネーズ、カラシ  
…適量

キャラペツは千切りにする。マヨネーズにカラシ少量を  
加えてよく混ぜる。オーブントースターにコロッケと食パンをならべ、  
こんがり焼く。パンは2枚とも片面にマヨネーズをぬり、1枚の上に  
キャラペツを平らに広げ、コロッケをのせる。ソースをたっぷりまわしかけ、  
もう一枚のパンでふたをする。好みで耳を落とし、半分にカットする。



PassMarket

YAHOO!

※デジタルチケットは  
右記の二次元コード  
より購入できます。

チラシ持参で一般当日券 1,300円に割引





# 第103回悠悠映画塾



《文部科学省特別選定作品／厚生労働省社会保障審議会推薦／茨城県推奨》

《後援:茨城県保育協議会／茨城県民間保育協議会／茨城県私立幼稚園・認定こども園連合会／茨城県保育運動連絡会／茨城県遺族連合会》

53人の子どもの笑顔を守る。  
それが、わたしたちの使命だった。

# あの日の オルガン

戸田恵梨香 大原櫻子

佐久間由衣 三浦透子 堀田真由 福地桃子 白石糸 奥村佳恵

萩原利久 山中崇 田畠智子 陽月華 松金よね子

林家正蔵 夏川結衣 田中直樹 橋爪功



監督・脚本: 平松恵美子

原作: 久保つぎこ『あの日のオルガン 疎開保育園物語』(朝日新聞出版)

音楽: 村松崇雅 主題歌: アン・サリー「満月の夕 (2018ver.)」(ソングクスク・ジャズ)

撮影: 近森廣史 照明: 宮西季明 青術: 小林久之 録音: 西山徹 撮影: 小堀由起子 装飾: 大庭信正 衣裳: 真壁紀子 ヘアメイク: 田邊明日歌

エグゼクティブプロデューサー: 李鳳宇 プロデューサー: 三宅はるえ 企画: 鳥居明夫 李鳳宇

VFXスーパーバイザー: オダセイ 音響効果: 鹿島さくら スクリプター: 小林加苗 助監督: 相良健一 制作担当: 雷井成和 制作プロダクション: フースターブロジェクト

協賛: トライ 後援: 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 公益社団法人全国私立保育園連盟 社会福祉法人日本保育協会 全日本私立幼稚園連合会 公益社団法人日本仏教保育協会 全国保育団体連絡会 全国保育問題研究協議会 一般財團法人日本遺族会 日本更生保護女性連盟 全日本民主医療機関連合会 東京都品川区 東京都新宿区 埼玉県蓮田市

製作: 「あの日のオルガン」製作委員会(制作幹事/マシニーズエンターテインメント、ジャパン・ストーリーネットワーク、シネマトゥムロウ、中央映画販売、朝日新聞社)

助成: © ベハマ 文化芸術振興費補助金 文部科学省特別選定作品(一般劇映画・少年向き・青年向き・成人向き H30.11.27)

配給: マシニーズエンターテインメント 2018年 119分 カラー ビスタ 5.1ch ©2018「あの日のオルガン」製作委員会

G 級別 読書

anohi-organ.com



子どもたちを守るために、保育園ごと疎開させる。知られざるヒロインたちの実話を映画化!



2024年8月24日(土)ザ・ヒロサワ・シティ会館小ホール(県民文化センター)

開演時間 / ①午前10:30~ ②午後2:00~ (開場各30分前・上映時間119分・字幕付上映)

●主催・問合せ ●茨城映画センター(「悠悠映画塾」事務局 Tel:029-226-3156) 詳細は裏面をご覧下さい。)

●共催 ●水戸市

# 昭和から平成。そして、新たな時代へ語り継ぎたい物語。 知られざるヒロインたちの感動の実話、遂に映画化！



## 怒った。泣いた。笑った。そして、生きた。

1944年の東京。20代を中心とした若手保母たちが、国の決定を待たず、日本で初めて園児を連れての集団疎開を敢行した、いわゆる「疎開保育園」の事実はあまり知られていない。これは、幾多の困難を乗り越え、託されたいのちを守りぬこうとするヒロインたちの奮闘を描いた真実の物語。大切なのちを未来へつなぐことを願い、毎日を必死で戦った保母たち。強い信念で時代を切り拓いていった彼女たちの生き様は、時を越えて今を生きる我々を魅了し、大きな勇気と希望を与えてくれる。

主演は、目覚ましい活躍を続ける実力派女優・戸田恵梨香と、女優・歌手としてフィールドを広げる大原櫻子。また、今後の映画界を牽引する期待の新鋭俳優たちが共演し、林家正蔵、夏川結衣、田中直樹、橋爪功ら日本を代表する俳優たちが脇を固める。メガホンをとるのは『ひまわりと子犬の7日間』の監督であり、長年山田洋次監督との共同脚本、助監督を務めてきた平松恵美子。



### STORY

戸越保育所の主任保母・板倉楓は、園児たちを空襲から守るために、親元から遠く離れた疎開先を模索していた。最初は反発していた親たちも、子どもだけでも生き延びて欲しいという一心で保母たちに我が子を託すことを決意。しかし、ようやく見つかった受け入れ先はボロボロの荒れ寺だった。

幼い子どもたちとの生活は問題が山積み。それでも保母たちは、子どもたちと向き合い、みっちゃん先生はオルガンを奏で、みんなを勇気づけていた。そんな願いをよそに1945年3月10日、米軍の爆撃機が東京を襲来。やがて、疎開先にも徐々に戦争の影が迫っていた――。



太平洋戦争末期、53人の子どものいのちを守った保母たちがいた。

誰もが自分のことで精一杯だった時代、彼女たちを突き動かしたものとは一体なんだったのか？

## あの日のオルガン

[anohi-organ.com](http://anohi-organ.com)

2018年/119分/カラー/ピースタ/5.1ch © 2018「あの日のオルガン」製作委員会

**前売券 1,200円** 発売予定日／7月23日～(販売所により発売日が異なる場合があります。)

(当日券／一般:1,500円、高校生以下:800円、**悠悠映画塾会員は1,100円**)

**前売券販売所** ザ・ヒロサワ・シティ会館、水戸京成百貨店、ひたちなか市文化会館、デジタルチケット

【前売券予約電話番号】茨城 映画センター内：090-2641-3156

(土・日・祝日を除く 午前10:00～午後5:00)

PassMarket



●感染症対策の為、発熱や体調不良時には来場をお控え  
いただきますようお願いいたします。またご入場の際等、  
適宜手指の消毒にご協力ををお願いいたします。

チラシ持参で一般当日券1,300円に割引

※デジタルチケットは、  
上記の二次元コードより  
購入できます。

# 第104回悠悠映画塾

世界を魅了する魂のピアニスト。  
美しい音色はいかにして生み出されるのか――。



パリ、NY、ブエノスアイレス、LA、ベルリン、東京、京都  
心震えるワールドツアーでの演奏、自宅で愛する猫たちに囲まれての暮らし…  
輝き続ける彼女が教えてくれた生きるヒント。

## フジコ・ヘミングの時間

A documentary film of  
*Fujiko Hemming*



出演 フジコ・ヘミング 大月ウルフ ナレーション 三浦透子 企画・構成・撮影・編集・監督 小松莊一良

エグゼクティブ・プロデューサー:新井重人 企画プロデュース:千葉広二 プロデューサー:小室直子 撮影監督:青木正 サウンドトラック・プロデューサー:西尾勇哉 ミキシング・エンジニア:板元達也  
ライン・プロデューサー:佐藤裕武 小松上花 宣伝プロデューサー:宮崎永子 製作プロダクション:祭 製作:日活 ユニバーサルミュージック 祭 スピントーキョー 読売新聞社 助成:「藝文化」文化芸術振興費補助金  
配給・宣伝:日活 2018年 / 日本 / 115分 / 5.1ch / HD / カラー / デジタル ©2018「フジコ・ヘミングの時間」フィルムパートナーズ

2024年9月26日(木)ザ・ヒロサワ・シティ会館 小ホール(県民文化センター)

開演時間 / ①午前 10:30~ ②午後 2:00~ 【開場各30分前、上映時間115分】

●主催・問合せ● 茨城映画センター(「悠悠映画塾」事務局 TEL:029-226-3156) 詳細は裏面をご覧下さい。

# 苦難を乗り越え、60代で世界に見いだされた奇跡のピアニスト、フジコ・ヘミング いくつになっても豊かな人生を奏でる——。



14歳の時に描いた絵日記を公開!  
数奇な人生と知られざる  
家族のヒストリーに胸が熱くなる

幼少時に別れたスウェーデン人の父への複雑な想い、  
ピアニストの母からの厳しいレッスン、ハーフへの差別、  
貧しい留学生活、音楽の成功を前にした聴力の喪失など、撮影中のインタビューと少女時代の絵日記を通して語られるのは、波乱万丈の人生。どんな時も夢をあきらめず前に進み続けたフジコが、あるエピソードを通して、今再び家族への想いを噛みしめる——。

## 世界が熱狂したワールドツアーでの演奏、 圧巻の“ラ・カンパネラ”

貴重なワールドツアーでの演奏と裏側、2017年12月1日に東京オペラシティで行われたソロコンサートの「ラ・カンパネラ」をほぼフルバージョンで収録。5分におよぶそのシーンの中で、フジコは、生きざまがにじみ出るような圧巻の演奏を聴かせる。年齢を重ね様々な困難があってもステージに立ち続けるフジコに迫る——。



上映劇場情報はこちらから



出演:フジコ・ヘミング ナレーション:三浦透子 監督:小松莊一良  
制作プロダクション:祭 製作:日活 ユニバーサルミュージック 祭 スピントキヨー 読売新聞社

**前売券 1,200円 発売予定日／8月23日～(販売所により発売日が異なる場合があります。)**

(当日券／一般:1,500円、高校生以下:800円、悠悠映画塾会員は1,100円)

**前売券販売所 ザ・ヒロサワ・シティ会館、水戸京成百貨店、ひたちなか市文化会館、デジタルチケット**

**【前売券予約電話番号】茨城映画センター内:090-2641-3156**

**(土・日・祝日を除く 午前10:00～午後5:00)**

●感染症対策の為、発熱や体調不良時には来場をお控え  
いただきますようお願いいたします。またご入場の際等、  
適宜手指の消毒にご協力をお願いいたします。

パリ、NY、ブエノスアイレス、LA、ベルリン、東京、京都

…フジコと巡る旅

世界中にある美しい自宅、愛する猫たち犬たちとの暮らし、  
恋の話など彼女の“素顔”を解き明かす

60代後半でデビューし、80代になった今でも世界中で演奏活動を続けるフジコ・ヘミング。年間約60本のコンサートをこなし、チケットは即完売で新たなオファーも絶えない。その情感あふれるダイナミックな演奏は多くの人の心をとらえ、“魂のピアニスト”と呼ばれている。本作は、世界を巡るフジコを2年間にわたって撮影した初のドキュメンタリー映画。お気に入りのアンティークと猫たちに囲まれて暮らすパリの自宅で迎えるクリスマスの情景、宮大工がリフォームした古民家で過ごす京都の休日、留学時代の思い出が宿るベルリン郊外への旅など、初公開のフジコのプライベートが観れる。世界中の人々を魅了してやまないフジコの音楽は、どんな人生・ライフスタイルから生まれてくるのか?



**チラシ持参で一般当日券1,300円に割引**

PassMarket



※デジタルチケットは、上記の二次元コードより購入できます。